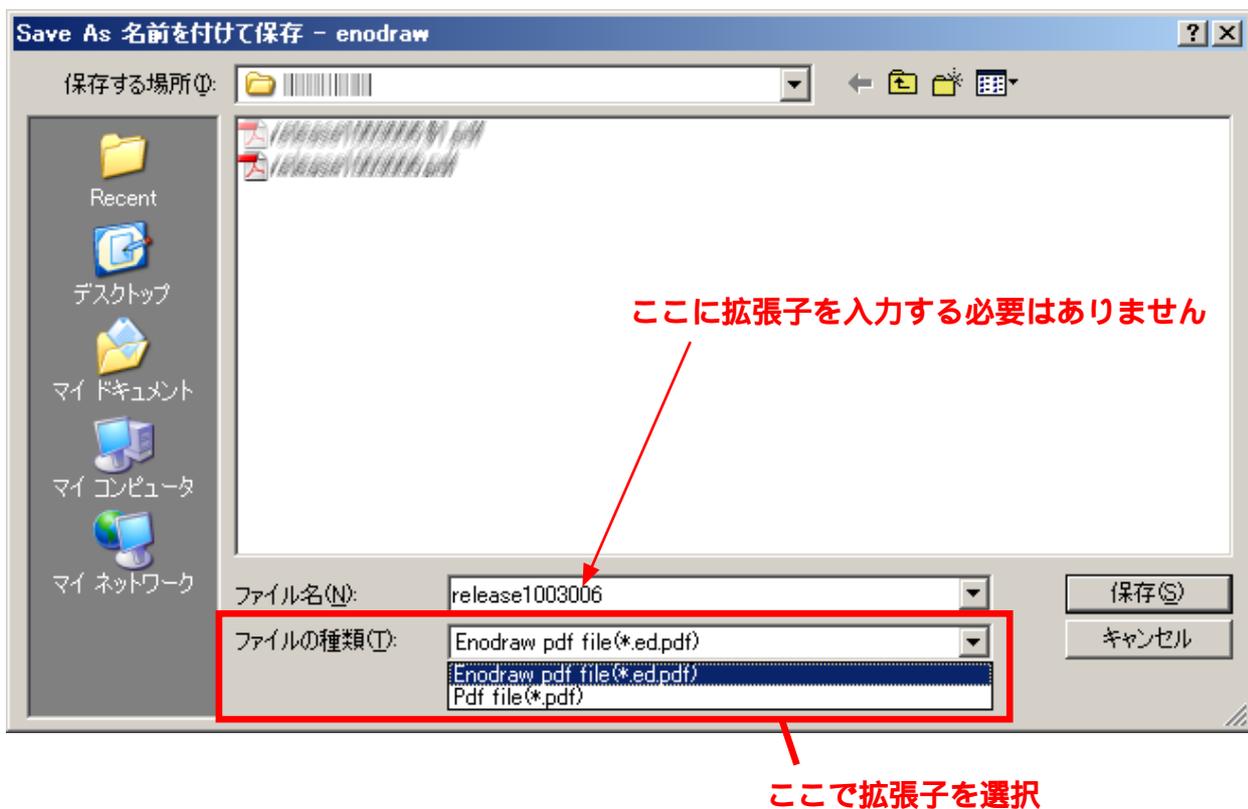


enodraw ver.1.003.006 リリースノート

デフォルトの保存ファイル拡張子を .ed.pdf に変更

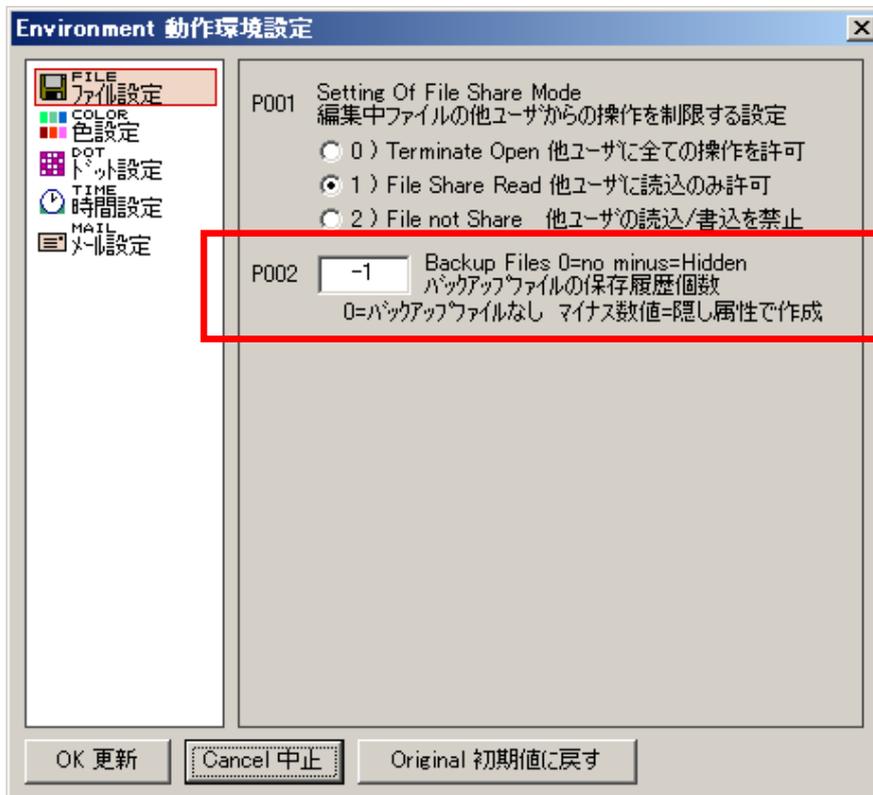
本ソフトで作成されたPDFファイルは編集が可能です。拡張子がPDFである為、他のソフトで作成されたPDFファイルとの区別が付きにくい。そこで、ファイル名を工夫する必要がありますが、各自が勝手に行くと余計に分かりにくい為、.ed.pdf という拡張子を付ける事で統一したいと思います。ファイル保存ダイアログでファイルの種類を「Enodraw pdf file(*.ed.pdf)」にすれば自動的に .ed.pdf になり、「Pdf file(*.pdf)」にすれば従来通り .pdf になります。なお、Windowsにおいては最後のドットのみが有効となりますので、.ed.pdf と .pdf の扱いは同一です。(ファイル名の文字列長が3文字だけ増えるというだけです。)



個数を任意に設定できるバックアップファイル作成機能を追加

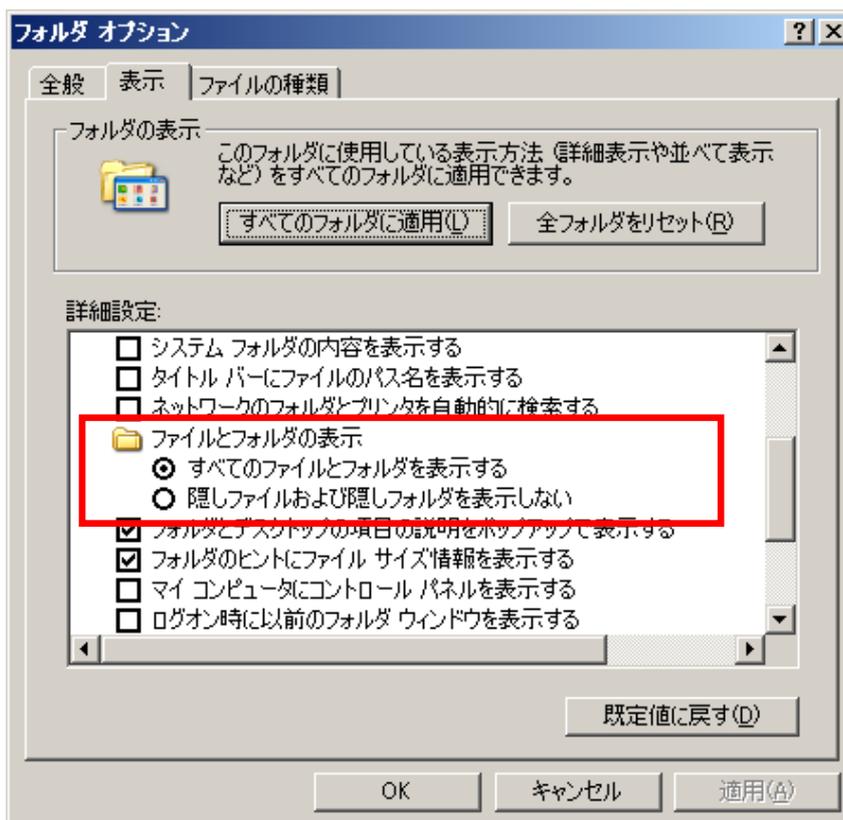
現在のパソコンはハードディスク容量が100GB以上となり、リムーバブルメディアに関してもフロッピーに変わり、100MBを超えるメモリが主流となっています。このような状況ではディスクを節約するより、バックアップファイルを多く作成して、人間の入力時間を減らす方向に考えるのが有効です。通常のアンドゥ、リドゥ機能では1つの流れしか管理できませんが、バックアップファイルならば、履歴を枝分かれさせて管理することもできます。また、通常ソフトでは1~5個程度のバックアップしか作成できませんが、本ソフトでは制限がありません。「動作環境設定」「ファイル設定」に「P002:バックアップファイル保存履歴個数」で設定された数だけ作る事ができます。

(次ページに続く)



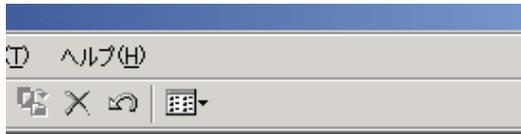
さて、バックアップファイルを多く作成すると、フォルダが一杯になりエクスプローラ等で見難くなりますが、保存履歴個数をマイナスの数値で設定すると、バックアップファイルを隠し属性にする機能で対応致します。

隠し属性のファイルはエクスプローラの「ツール」「フォルダオプション」「表示」「ファイルとフォルダの表示」を「すべてのファイルとフォルダを表示する」にすることで見れるようになります（Windows XPの場合）。

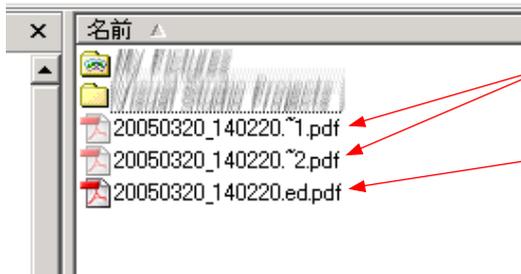


（次ページに続く）

本ソフトで作成されるバックアップファイルの拡張子は.BAK等ではなく、.(番号).pdf となります。バックアップファイルを積極的に使用する為、拡張子はPDFのままにしています。



従って、バックアップファイルをそのまま読み込んで編集し、他の名前を付けて保存するなどの使い方が簡単にできます。



バックアップファイル

編集中心ファイル

新規作成時のデフォルト用紙設定を保存できるように変更

入力ファイルなしで本ソフトを起動させた時の用紙設定が固定でしたが、用紙設定ウインドウにて「初期値登録」鈕を押すことにより変更可能としました。



A4縦で下余白が17mmという設定は「存在する全てのプリンタに対応した余白」であって、縁無し印刷が当たり前となっている現在ではもう少し小さくしてもいいと思われますので、お使いのプリンタに合わせて設定して下さい。

なお、全ての人が縁無し印刷プリンタを持っているとは限らないので、余白を小さくするのはほどほどに...

Alt + マウススクロールでページスクロールを行う機能を追加

Shift + マウススクロールで水平スクロールを行う機能を追加

小さく動かすときはマウス右ドラッグ、大きく動かすときはマウススクロールという使い分けが有効です。

(次ページに続く)

範囲選択での「文字要素切取り」「文字要素コピー」機能を追加

範囲選択での切取り、コピーを文字列要素のみに適用します。
表の中にある文字列を抽出したり、削除する場合に非常に有用な機能です。

範囲選択での「全頁で削除」「全頁へコピー」機能を追加

本コマンドは指定された範囲の全ページに対して編集する機能です。
ページ数の多い文書で似たような部分が各ページにあるが、完全に同じではないのでフォームには置けない。このような場合に、全ページへのコピーや削除があれば、かなりの省力化となります。
本ドキュメントの各ページの下端にある「(次ページに続く)」などは全ページへコピーを実行後、最後のページにコピーされた要素を削除すればよい。また、下記のページ番号置換機能に使用する文字列要素を作成するのもにも使えます。

範囲選択での「ページ番号変換」機能を追加

本コマンドは指定された範囲の全ページに対して編集する機能です。
本ソフトにはヘッダフッタ機能がありませんが、フォームという特殊なレイヤがあるのでそこに描く事で実現できます。ただ、ページ毎に違うページ番号はそうゆうわけにはいきません。
そこで、全ページに文字列を書き込み(上記「全頁へコピー」コマンドが有効)、本機能によって全てのページの文字列を一括書換えすることで実現します。このような方法を取ることに
より、後でページの挿入を行った場合でもページ番号を変えずに済みます。
(例えばページ3とページ4の間にページを挿入したら、それをページ3 Aにするとか。)
有用な文書は必ず更新される運命にあり、ページ番号が変わって、すべてプリントアウトするような事態が発生することは環境面でもよくないと考えます。

注：本機能により置換する文字列にスペースと数字以外の文字が含まれていてはなりません。
但し全角と半角はどちらでもかまいません。
また、置換される数字は全て右詰めで配置されます。